

ゆがわらこどもまんなかプラン 2024(案)に対するパブリックコメント結果

- 1 実施期間
 - 令和6年12月20日(金)～令和7年1月20日(月)
- 2 周知方法
 - 町ホームページ
 - 町施設（役場、駅前観光案内所、図書館、美術館、保健センター、防災コミュニティセンター、子育て支援センターゆたぽん）
- 3 募集資格
 - 本町に在住、在勤、在学の方
 - 本町に事務所または事業所を所有している方
- 4 公表場所
 - 町ホームページ
 - 町施設（役場、駅前観光案内所、図書館、美術館、保健センター、防災コミュニティセンター、子育て支援センターゆたぽん）
- 5 提出方法
 - パブリックコメント記入用紙に必要事項を記入の上、役場こども支援課へ郵送、持参、電子メール
 - 電子申請システムに必要事項を入力の上、電子申請
- 6 募集結果：8名から29件
- [対応区分]
- A 意見を踏まえ、計画に反映するもの0件
- B 意見の趣旨が既に計画に反映されているもの5件
- C 意見・要望として承ったもの24件

No.	意見の趣旨	対応区分	意見に対する町の考え方
1	意見書の氏名、住所を書かなくても受領していただけるのか？小さい町なので、意見を出すときに、どこの誰か、が分かってしまう事を気にして言われなくなる方が多いと感じます。（この件に限らず）『意見欄』は匿名として扱う、など…住所氏名を「公表してもいい/したくない」が選べるのもいいかも、と思います。	C	責任ある立場からご意見を出していただくという理由で、氏名及び住所の記載を求めています。また、ご意見の確認を行わせていただく場合もございますので、この点からも記載が必要となりますが、いただいたご意見を公表する際には、住所氏名につきましては、公表しておりませんので、気にせずご意見をいただければと考えます。
2	「放課後の居場所」の重要性がプランの中にも出てきますが、その場所へ行くこと自体が難しい（土日の子ども対象教室なども、「送り迎えや付き添いができない事」がネックで参加できない）家庭が多いです。「送り迎え」の大切さもありつつ、「仕事をしながらも親子で過ごせる時間をつくる」ことも地域で考えていけたら良いなあと思います。子供対象イベントを考える際、そこがネックになっていることもご理解いただけると、ありがたいです。参加させたがっている家庭はたくさんあります！	C	送迎につきましては、費用負担が可能であれば、ファミリーサポートセンター事業をご利用いただければと考えますが、費用負担が難しいご家庭もありますので、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。また、子供対象イベントにはできるだけ多くの子どもたちに参加していただきたいと考えておりますので、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

3	中学校の不登校（お休みが多い）子が増えたように感じています。クラス（学年？）では10%くらい、と聞き、少し心配しています。中学校の部活動維持も大変と聞き、子供達（小学生）は中学＝部活のイメージもあるので…小学生のうちに保護者が中学を見学に行くなどできると良いです(学校公開の日程を小学校でもお知らせしてくれるなど。)	B	学校公開日を設定してはおりませんが、学校見学につきましては、個別にご対応させていただきますので、希望される場合は中学校へ連絡の上、見学していただければと思います。
4	困りごとなどのアンケートの%が少ないから大丈夫、ではなく、少数だからこそ/アンケートで「少数派」「いいえ」「困っている」方（→○をつけずらい方）に丸をするほど、困っている/、ことにも、目を向けて考えていただけるとありがたいです。	C	地域には様々な人々が関わりながら生活しておりますので、合意形成の過程で、少数意見も非常に大切だと考えております。今後もいただいたご意見につきましては、一つ一つ目を通させていただきたいと考えております。
5	公園にもっと芝生がほしいです。日陰も今より欲しいです。避難所として、駐車スペースとしての、役割も必要と聞いていますが、日々の使いやすさ、親しみやすさも大切なので、公園グラウンドの周囲だけでもどうでしょうか…？	C	芝生は維持管理も必要ですが、それ以前に犬猫などの糞尿が見えなくなり、そこで遊ぶお子様たちの衛生上の問題から、芝生が不適切だという意見もございますので、積極的に芝生整備を行っておりません。また、多くの公園にて周囲に樹木を植樹し、日陰が出来ており、自然あふれる親しみやすい公園が多いと考えております。
6	雨の日に遊べる広い場所（体育館など）が欲しい。	C	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
7	3歳～4歳頃に発見できれば、メガネ矯正のみで90%以上の確率で治る弱視ですが、うちは、3歳半健診で自宅で行った簡易検査では、発見することができませんでした。もっと早くに見つけてあげればと思うのです。私もそうだったように、弱視について知識がない人がまだまだ多いですが、きちんと早くに発見できれば治る病気である為、見逃しをなくせるように、対策を何かしていけないだろうかと思っています。	C	弱視を見逃さないための更なる対策として、今後の3歳6か月児健診では「視力と聴力の調査票」の確認に加え、弱視の特徴（テレビや本を近づけて見る等）を問診していき、不安がある方なども含めてより丁寧に保護者と相談し、専門家の検査を受けられるよう勧めていきます。また、3歳6か月児より前の乳幼児健診等の機会を活用し、早期から弱視についての情報や日頃の観察ポイント等を周知していきます。
8	地元の食材や、オーガニック食材を中心とした給食の実施を希望します。（中学校給食の実施は前提）生産者と子ども達の交流の機会もあると良い。	B	湯河原町の生産者さんと学校栄養士との連絡会を設け、学校給食における地場産物の使用促進を図っております。今後は連絡会を拡大し、湯河原産、神奈川産の食材を使用した献立が増えるようにしたいと考えております。生産者さんと児童の交流につきましては、既に実施しております。
9	小学校給食時の白衣の着用をなくしてほしい。学校によっては各自、エプロン持参のところもあるとききます。白衣を共用することで、洗たく時の各家庭の合成洗剤の香りが香害となるため。	C	小学校では、給食当番用の白衣を用意しておりますが、個人用エプロン、三角巾を持参していただくことも可能ですので、学校にお問合せください。
10	学童利用児の学びの教室の利用を可能にしてほしい。	C	学童保育所と放課後子ども教室の連携は、こどもたちの成長にとって有益であると考えております。今後は関係各所と調整をし、連携可能か検討していきたいと考えております。
11	プレイパーク（子どもが安心して主体的に自然の中で遊べる公園）の設置を希望します。	C	プレイパークの設置については人材確保や運営方法など今後、他市町の状況を見ながら、研究をしていきたいと考えております。インクルーシブ遊具（障害のある子どもも、そうでない子どもも一緒に遊べる遊具）などを積極的に整備し、子どもが安心して遊べる公園管理に努めてまいります。
12	0～1歳とその親子さんに特化した芸術鑑賞の機会としてベビーシアターの実施を希望します。 例えば、町の健診時の待ち時間を利用しての開催など。	C	映画や演劇、音楽等の芸術を鑑賞することは赤ちゃんにとってカラフルな色合いや音色等楽しめると思います。しかし、乳幼児健診は児の発育発達の確認、身体的異常の再評価・育児支援を目的に実施しております。そのためじっくりと親子で芸術鑑賞をすることと同時に健診を実施することは難しいと考えています。
13	学校の先生達が、本業である“面白い授業”を作るための時間や、先生達同氏の研究共有の時間、子どもの発達や教育についての研修の機会などもてるようにしてほしい。	B	学びづくり推進事業として、小中学校及び幼稚園で実施する研究会等へ講師を招いたり、先進校が実施する研究授業へ教諭が参加するなど、児童生徒への学習習慣等についての仕組みづくりについて実践研究を行ったり、研究内容の共有を図っています。
14	数値や○△だけで評価するような通知表は必要ないと考えます。子ども1人1	C	令和6年度より、通知表前期の所見について記載しないこととなりましたが、児童生徒1人1人の学

	人についてのコメント（文章でなく口頭でも良い）の方がむしろ大切だと思うけれど、それが先生方の負担になるのであれば、通知表自体をなくしてよいと思います。意味を感じません。		校での様子については、夏季休業前後での教育相談でお伝えさせていただいております。また年度末の通知表で1年間のまとめとして、所見を記載させていただきます。
15	土日以外で1週間に1日、自由に学校を休める日が欲しい。	C	現在、土日祝日等以外での休日は考えておりません。
16	子育て支援センターの休みが日曜・月曜・祝日ですが、保育園に子どもを通わせている家庭は利用しにくい。	C	子育て支援センターの開所日につきましては、職員の勤務体制や保育士の確保が課題となっておりますが、利用者全体の意向などを捉え、必要に応じて変更など検討したいと考えております。
17	ファミサポを利用したくて登録したが金額が高くて利用できていない。もう少し安くなるとありがたい。	C	平成25年の事業開始以来、利用料金につきましては据え置いております（子ども1人当たり、平日は350円/30分、土日祝日は450円/30分。2人目以降割引あり）。サポートしてくださる会員様の負担を考慮しますと、利用料金の引き下げについて見直しを行う予定はございませんが、必要に応じて検討したいと考えております。
18	朝、小学校が始まるまでグラウンドを自由に使用出来るようにしてほしい。（コロナ前は出来ていたと聞いています）	C	朝の小学校が始まるまでの間のグラウンド利用につきましては、現在のところ考えてはおりませんが、ご意見として参考にさせていただきます。
19	公園の多い町なので、それぞれ特化した公園にしてほしい。 例えば、未就学児が遊びやすい公園、ボール遊びが出来る公園など	C	インクルーシブ遊具を多く設置している公園やバスケットゴールを設置している公園など少しずつではございますが、特徴ある公園となるよう整備していきたいと考えております。
20	中学校給食の実施について	C	中学校給食につきましては、早急に実施できるよう検討を進めているところでございます。
21	湯河原中学校の場所について、湯河原小学校の場所で合同にしてほしい。中学校の海の近くが心配。	C	湯河原中学校の場所につきましては、今後の町立幼稚園及び小中学校のあり方の作成を進めていく中で検討したいと考えております。
22	子ども若者の声や、子供に1番近いママさん達の声(想いを聴く)を聞く場の創出と支援体制の拡充について。	B	子どもや若者の声につきましては、今計画の策定の際に実施しましたアンケートを継続的に実施していきたいと考えております。また、湯河原町子ども・子育て会議の公募委員として、会議に参加していただき、ご意見をいただきたいと考えております。
23	学校の先生方の多忙さが言われて久しいが、町として出来るだけ先生方が子どもたちと(心をもって)向き合うための時間を充分に取れるようにしてほしい。また、先生方が学ばねばならないことをきちんと学べる場と時間の確保、環境づくりについて切実に対応して行ってほしい。	C	教員の働き方改革につきましては、文部科学省の通知や近隣市町村の動向を参考に、学校のニーズを把握しながら検討していきたいと考えております。 絶え間なく変化し続ける社会の状況に対応できるよう、適切な研修を計画していきたいと考えております。
24	大人からやらされる授業だけでなく、子どもたちが主体となって、自分たちでやりたいことを考えて取り組める時間を設ける。	C	文部科学省学習指導要領をもとに、各校で校内研究（各学校が児童の実態に合わせて課題解決のための研究主題を設定し、授業実践を通して、その課題が改善されているかを評価・改善していく活動）による授業改善を行い、主体的・対話的で深い学びの実践に努めていきたいと考えております。
25	学校でいろいろな人の生の声を聴ける機会を持ってほしい。 例えば戦争体験、ジェンダー、医療従事者、障がい児を持つ家族など	B	各校でゲストティーチャーや職業講演等を実施していますが、児童・生徒や保護者の多様な教育的ニーズに対応できるよう、内容を検討していきたいと考えます。
26	吉浜海岸に町民のための駐車場を設けてほしい。	C	夏季期間中は、町営吉浜駐車場を開設しております。それ以外の期間につきましては、隣接する民間の駐車場をご利用いただければと考えておりますが、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
27	ヤングケアラー、きょうだい児（障がい児を兄弟にもつ者）について状況理解を深める場、講演会などを開いてほしい。	C	ヤングケアラー、きょうだい児につきましては、神奈川県や関係機関と連携し、周知に努めていきたいと考えております。
28	湯河原の恵まれた自然環境を活かして、幕山公園をはじめ、野外で身体を動かしたり自然と触れ合える環境をもう少し整備してほしい。	C	幕山公園等、設置してからの経年劣化が著しくなっておりますので、自然と触れ合える場所の提供や整備に努めてまいりたいと思います。
29	学校の体育館などを利用して子どもが楽しめる映画上映会を開催してほしい。	C	児童・生徒や保護者のニーズを把握しながら、町内の子どもたちが校種を越えて交流できる場所の一つとして検討していきたいと考えます。